



JOSKAS-JOSSM 2022
ランチョンセミナー 16

股関節のバイオメカニクスと疼痛

Pathology and Biomechanics of Hip Joint

学術集会ホームページ
<http://www.congre.co.jp/joskas-jossm2022/>



2022年6月17日(金)
12:00~13:00

第8会場 札幌コンベンションセンター2階206
札幌市白石区東札幌6条1丁目1-1

座長 **中島 康晴 先生** 九州大学大学院医学研究院整形外科 教授

演者 **高尾 正樹 先生** 愛媛大学大学院医学系研究科整形外科学 教授

股関節の疼痛発生原因やその機序を推定する上で、股関節のバイオメカニクスを理解することは重要である。股関節には日常生活動作でも体重の2-3倍の荷重がかかり、非荷重の仰臥位の運動でも体重の2倍前後の荷重がかかる。不意なつまづきでは体重の7-8倍の荷重がかかり、関節唇や軟骨の損傷の要因となりうる。股関節に要求される可動域は日常生活動作にでも大きい、スポーツ動作では種目により要求可動域はさらに大きくなり、関節損傷の要因となりうる。股関節は、その形状から安定性の高い関節と考えられてきたが、近年関節唇などの軟部組織が大いにその安定性に関与していることが報告されており、軽微な関節唇損傷が関節軟骨の負荷を増大することが明らかとなっている。股関節のバイオメカニクス観点から関節損傷や疼痛発生機序を考察する。

認定単位 必須分野(N):[1]整形外科基礎科学、[11]骨盤・股関節疾患